

評価会議（令和元年度期末）における委員の評価及び意見

受託者等に対する評価

1 項目ごと評価

評価項目		A委員	B委員	C委員	
支援の内容および効果等	協議会の取組 （イメージ） 自律的運営に向けた地域活動	(1)「地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等 （配点5点）	3	3	3
		(2)「つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等 （配点5点）	3	2	3
		(3)「組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等 （配点5点）	3	3	3
	事業の実施体制等	(1)自由提案による地域支援の状況（実績）及び効果等 （配点5点）	—	—	—
		(2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況（実績）及び効果等 （配点5点）	3	2	4
		(2-2)フォロー（バックアップ）体制等にかかる支援状況（実績）及び効果等 （配点5点）	3	2	3
		(3)区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況（実績）及び効果等 （配点5点）	—	—	—
	策（取組） 今年度の重点支援	区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援状況（実績）及び効果等 （配点5点）	3	3	3

（※）事業者等において、取組の提案等の記載がなかった項目については、委員評価の対象外のため「—」となっています。

主な意見等

- ・「地活協ガイドブック」が少し貧弱ではないだろうか。
- ・直営と非常勤との組み合わせの利点が見えにくい。地域運営アドバイザーや専門アドバイザーの役割が見えないことも。
- ・非常勤嘱託二人体制で、どこ迄ふみ込んでいけるのか。再点検が必要と考える。
- ・現状分析が全般に甘い。次の人材開発に向けたプログラムが存在しないので、これをビルトアップして、次のステップに向かうこと。

- ・現状分析と今後の向かうべき方向が少し不鮮明になっているのではないか。
- ・今後の担い手の拡大は、よりふみ込んだ方策が必要と考える。
- ・地域カルテワークショップを開催したことは評価できるが、自主財源確保の手段は「コミュニティ回収」だけではないと思う。
- ・「地活協ガイドブック」の内容が貧弱過ぎ、認知度向上は期待できない。他区の事例を参考に充実していただきたい。
- ・補助金説明会だけではなく、各地活協の事例紹介や広報担当者の研修などの場がもっと必要ではないか。さらに、運営を担っている役員らが交替するときの準備も必要と思われる。
- ・(地域運営アドバイザーが) 2名では少なすぎるのではないか。
- ・ホームページの運営支援を行ったとのことだが、それだけでは不足。アドバイザーの力量(人数)が十分でないところは、もっと外部の支援とともに常勤職員の関与が必要と思われる。
- ・「支援状況(実績)」「効果」「課題分析と改善策」の書き分けができておらず、抽象的な表現が目立つ。新たな担い手が参画しやすい組織づくりについては、現在の組織の改善(受援力の向上や活動の棚卸)なくしては進まないため、現在の「支援策」の見直しが必要である。
- ・各地域の成熟度の差がどこから生じているものか、の客観的な分析がないと(支援メニューアンケートの結果だけでは)効果的な支援ができないのではないか。
- ・数年前まで旭区の間接支援のパフォーマンスはトップクラスだったのに、随分、低下してしまっただよに感じる。非常勤職員に任せきりにせず、区として地活協機能の維持・発展に向けて本腰をいれていただきたい。
- ・地域課題を共有した後の取組は、地活協だけで完結するものではなく、他団体との連携・協力が欠かせない。現行では、つなぐ機能や新たな担い手の発掘・育成に関する戦略や手法が不十分なので、他区の好事例を参考に戦略をきちんと組み立てていただきたい。
- ・地活協の地域活動の認知度向上のための取組(SNS等)は進められているようであるが、新たな担い手の参画というステップには進んでいないように思う。知恵を出し合い、新たな担い手の参画を促進して頂きたい。

(採点基準)

- 5点：期待レベルをはるかに上回っている。
- 4点：期待レベルを上回っている。
- 3点：概ね期待レベルに達している。
- 2点：期待レベルを下回っている。
- 1点：期待レベルに全く達していない。